

豚骨ラーメン応援浴衣

【北京・久永健志】中国

人に日本の着物文化を紹介するイベントが27日、北京の日本大使館で開かれ、久留米ラーメンのスープのもとである「元ダレ醤油」を使って染め上げた浴衣が世界で初めて披露された。

中国でも有名な日本の着

物とラーメンの意外な組み合わせに、約140人の参加者も興味津々。元ダレ醤油を混ぜた染料で染めており、ラーメンの麺をイメージさせる細い紺色の綻じま

元ダレ醤油で染色



元ダレ醤油を使って染色した浴衣を自ら着てん披露する富田伸明さん（左）=27日、北京の日本大使館

模様が涼しげで、若い女性たちから「とてもおしゃれ」との声が上がるなど、上々のお披露目となつた。

元ダレ醤油を使った染色は、「キモノスタイルリスト」として有名な着物デザイナー富田伸明さんのアイデア。豚骨ラーメンは世界で人気の日本食だが、その発祥が福岡県久留米市であることはほとんど知られていない

発祥の久留米PR 北京

元ダレ醤油は、ラーメンの味の決め手となる各店の秘伝のたれ。今回のプロジェクトでは、2006年に惜しまれつつ閉店し、常連たちの支援で3年後に復活した伝説の店「久留米ラーメン清陽軒」（久留米市）地」を売り込もうと創作した。

富田さんは北京のイベントに参加し、参加者への着付け体験などを通じて着物文化をPR。「今後、福岡県などと協力して、豚骨ラーメン発祥の地を世界に売り込んでいきたい」と話していた。

浴衣のほか、浴衣地を使つたスマートフォン（多機能携帯電話）ケースや名刺入れなどの小物も制作中。これらの中作は8月に上海の日本総領事館で紹介するほか、10月には東京・銀座で展示する予定という。